

## 令和6年度 第2回 学校運営協議会・学校関係者評価委員会（議事録）

岡山県立岡山西支援学校

開催：令和6年11月21日

10:00～11:30

### 出席者

---

#### ■ 学校運営協議会委員

岡田委員、河田委員、祇園委員、熊代委員、澤井委員、武縄委員、友末委員、荻原委員、宮野委員、粟津委員

#### ■ 本校職員

宮内副校長、兼信事務長、小銭教頭、小田教頭、頃末主幹教諭、竹内生徒指導主事

### 1. 開会

---

#### 【会長】

障がいのある人たちが社会に参加しているところだが、今日の会において対等に付き合える考え方（インクルーシブ）で協議を進めていければと思っている。

### 2. 協議

---

#### 専門部ごとの協議

#### 【会長】

要項の組織図にあるとおり、本年度より、本協議会は3つの専門部会からの提案や提言を踏まえながら、学校の運営やその支援を行っていく組織となっている。本校の教育課題や教育活動等について専門部会ごとに議論していただきたい。

#### （福祉・就労部会）

- ・18歳未満の生徒が受給者証を取得し、福祉サービスを利用し生活介護入所（みなし入所）を考えている生徒がいる。最終的には福祉事務所が判断することになるが、児童相談所にも情報を共有していただき、必要な情報を伝達していただけたらとあり、スムーズに者みなしの受給者証取得ができるように相談にのっていただいた。
- ・支援学校へ入学したのは良いが、最終的に障害を受容できていない生徒がいるのが現状。特に入学までに進路についての情報をどの様に伝えていくべきなのか、本人や保護者に理解をしてもらうにはどうしたらよいのだろうか。

#### （教育支援部会）

- ・5校園コーディネーター連絡協議会の開催において、5校園に繋がるメリットがあり、情報共有を通じてネットワークでお互いに支援することができればと考えている。
- ・教員研修では本校の小中教務で自立活動や行動分析について行い好評であった。新しい発見や支援につなげていけたらと思っている。
- ・公民館の作品展が開催され、自分たちの作品が飾ってあるのは意味がある。公民館見学も実施しており、支援学校の生徒が来た場合にどんなことができるかも考えている。子どもたち同士の支援が自然で共生社会の担い手は子供たちなんだろうと思う。

#### （安全・防災部会）

- ・令和7年度、御南西公民館でやっている避難訓練を本校で実施。主催は公民館で、学校は場所を提供をしていく。児童生徒・保護者が参加しやすい、地域の方が入り、西支援学校を知ってもらえるメリットがある。

## ○質問意見

- A：避難訓練は是非していただきたい。理解が目的の交流よりは、交流の中で理解は深まると思う。こういう交流の仕方を沢山設けていただくことで、体験から知識が深まり、意識が変わり、行動が変わるのではないか。問題は日程の調整である。（友末委員）
- A：来年度の避難訓練は西支援学校での開催となるが、しっかりと協議して西支援学校に合うような訓練となれば良い。これが継続できるようにして欲しい。2回目には公民館でも実施する予定。（熊代委員）
- A：東日本大震災では、普段から交流や共同学習に力を入れている県は、障がい者が避難所で生活をする確率が高く、そうでない県は車中などで生活するなどであった。居住地校交流や共同学習が普段の学びの中でしていくことは大事である。この避難訓練は共同学習を避難訓練というバージョンで捉えたらいいのではないか。（河田委員）
- A：7～8年前西支援学校で、防災訓練を行っていた。来年度は説明があった方向で実施するようであるが、少しずつ内容を充実させながら実施してもらいたい（澤井委員）

## その他

- ・地域連携協議会については、今後ボランティアとしての活躍をお願いします。ボランティアと地域を繋ぐ調整役を祇園様、澤井様に委員として委託しています。（副校長）

## 参観（体育館棟の施設、設備及び授業参観）

### いじめ対策について（生徒指導主事）

- 資料をもとに説明を行った。
- 小学部においては、児童生徒が安心して登校できるようにまず、教室環境を整える対応に重点を置いている。中学部ではコミュニケーションに課題がある生徒が多い。日常生活の指導や自立活動の指導を通じて、人間関係の形成やコミュニケーション能力向上に重点を置いている。高等部では、SNSを介してのトラブルが多く見られるため、スマホ・インターネットの使い方の授業の実施、保護者への啓発、西警察署の協力のもと、非行防止教室を実施する。適切な人間関係の形成に理解が難しい生徒が多いので、人との関わり方や適切なコミュニケーションに関する学習を、日常生活を通して定着を図っていききたい。

## 3. 【ご意見・ご感想】まとめ（各委員より）

- （委員）前回来校した時と比べて、コロナ対策が緩和されて、雰囲気が明るくなったように
- （委員）古い校舎が大丈夫かと気になる。支援祭に向けて頑張っている。
- （委員）避難訓練する場所や施設の様子が分かった。本日の生徒の様子を見てよく頑張っている。
- （委員）布工班で以前しっかり説明してくれた生徒がいた。近所に西支援学校の生徒がいるが、こちらの指摘したことをよく聞いてくれる。
- （委員）交流の機会を広げることは重要。交流の日常化のために、お互い生徒が行き来し、本校でも合唱コンクール等の行事に参加していただければと思う。
- （委員）学校運営協議会の組織の在り方はすごいと思っている。障害者のすることは見本である。彼らで物事が変わる。地域を変えるのは障害者なんだという実感がある。
- （委員）児童生徒が通りすがりに気持ちの良い挨拶をしてくれてうれしかった。また、生徒が集中して授業に取り組んでいると感じた。
- （委員）保護者としては、親として不安しかない中、地域との交流が当たり前になり、子が一人になっても地域の支えがあり、見守ってもらうことは有難いことである。

#### 4. 学校関係者評価について（主幹教諭）

---

- 今年度中間とりまとめ結果を資料をもとに説明を行った。

#### 5. 閉会

---

##### 【委員】

脊髄性筋萎縮症により、顔と左手親指を除いた部位が動かない状態である中、「お笑い芸人界で初の寝たきり障害者」を名乗って芸能活動を行っている方（あそどっくさん）の講演での内容の一部を紹介。学校の進路学習で学んで目標ができた。しかし、たった一度の心無い言葉が許せなかったことがあるなどを説明。我々も今後は血の通った温もりのある対応をしていきたい。